

2015 年度

事業計画書

事業予算書

2015 年度 基本理念

2015 年度理事長 本庄 雅樹

松江青年会議所は 2015 年度より公益社団法人松江青年会議所として本格的にスタート致します。今日に至るまで先輩諸兄の情熱の積み重ねにより、多くの光績^{こうせき}を築き継承して参りました。そして、その継承のバトンを持つ走者も 60 人目となります。法人格の移行に伴いより高い公益性を追求し青年会議所運動を続けていくためには、物事をより大局的に見る視点を持たなければいけません。青年会議所運動には必ず目的があります。目的を明確に理解している人は、教えられた以上の知恵を出し、手段方法を自分で考える能力を持ち合わせています。明るい豊かな社会を築き上げることを目的とする団体であるならば、地域が今何を求めているのかを考えるべきです。

私たちの郷土^{ふるさと}「松江」には自然・歴史・文化といった財産が失われず残されています。この財産をどう生かすかは私たちの今後の行動にかかってきます。郷土^{ふるさと}の誇るべき財産を輝かせ続けるためには、私たちはもとより未来を担う子ども達に郷土^{ふるさと}の良さを伝えていくことが必要です。そして、その良さに触れることにより築き上げてきた先人への尊敬と感謝の気持ちが芽生え、郷土愛が育成されると考えます。

最後に、年間を通じ全ての事業に対して目的を明確にし、失敗を恐れずに勇猛果敢に挑戦することにより、来たるべき 60 周年には盤石な組織が構築されている事を確信しています。

2015 年度 公益社団法人松江青年会議所 スローガン

『 誰がために 』

～大局的な視点を持ち地域に耳を傾ける～

2015年度 基本方針

1. 山陰を牽引するLOMとしての創立60周年を前に

2016年度に松江青年会議所はLOMとして山陰で初めて創立60周年を迎えます。この地で60年もの長きに渡り青年会議所運動を続けてこられたことを先輩や市民に感謝すると共に、青年会議所運動の目的を一人一人が再認識し、山陰を牽引するLOMとして今後のあるべき姿を明確に示さなくてはなりません。2015年度はその為の大切な1年と位置づけ、メンバーでとことん議論を交わし、創立60周年そしてその後の松江青年会議所のあるべき姿を創像していきます。

2. この地域に元気と明るい未来を

高度経済成長を成し遂げて豊かな社会になった反面、^{ふるさと}郷土に対する想いは希薄化し、過剰な個人主義の尊重、コミュニケーション能力の欠如等、人の心と心の距離が遠くなっているのではないのでしょうか。私たちは未来を担う子ども達に^{ふるさと}郷土の良さを体感してもらい、将来郷土愛に満ちた大人となってこの地域のことを真剣に考えてくれることを願っています。青少年を育成することは未来の地域を支える人財を育てることです。私たちは『ひとづくり』は『まちづくり』に繋がると考え、郷土愛を育みます。

3. 賑わいの創出

松江だんだんまつりも松江商工会議所青年部との共同運営を始めてから今年で9年目を迎えます。2015年度もこれまで同様にお互いに協力し、賑わいを創出することによりまちに元気を与え、来場者に^{ふるさと}郷土の良さを感じてもらえるまつりを目指します。

4. 会員拡大をみんなの力で

現在の松江青年会議所の会員数はピーク時のおよそ1/3になっています。目的を特化したNPO法人の出現や、社会的情勢等による外的要因、また私たちの発信力不足も起因していると思います。会員数の減少は青年会議所運動に制限をもたらし、事業の縮小化に陥ることは明確です。過去より引継がれている拡大候補生リストを基に、1年後に迫った創立60周年に向けて思う存分その力を発揮するためにも、全てのメンバーが拡大に全力を注がなくてはなりません。そのためにも青年会議所運動に邁進しスキルアップを図り、個々が魅力ある『ひと』となり魅力を発信することが必要不可欠と考えます。

5. 公益社団法人として

2015年度に公益社団法人松江青年会議所として本格的にスタートします。入会年度の浅いメンバーが多い昨今、組織運営についても見直しを行いながら、全メンバーが公益社団法人としての自覚をもって更なる飛躍を目指します。

6. 出向者支援について

出向は新たな出会いの場であり、自身の能力をLOMの外で発揮できる場です。自己研鑽を積んでLOMに持ち帰り経験を生かすことにより、組織の活性化が進むと考えます。私たちの代表である出向者を全メンバーで支援します。

2015 年度 委員会構成・事業

1. J C ビジョン委員会

- ① 今後の松江青年会議所の組織運営に関する諸問題の調査・研究と方向性の提示(7月)
- ② (公社)松江青年会議所過去60年間の事業に関する調査及び編纂
- ③ J C デー(10月)の企画・実施
- ④ 卒業式祝賀会(11月)の企画・実施
- ⑤ (公社)日本青年会議所京都会議(京都・1月)の連絡調整
- ⑥ J C I A S P A C (マレーシア)の連絡調整
- ⑦ (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の政治系委員会との連絡調整
- ⑧ 特別会員との連絡調整窓口
- ⑨ (公社)日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック会長公式訪問の連絡調整・運営
- ⑩ 他 L O M 周年事業の連絡調整
- ⑪ 会員拡大に関する事項
- ⑫ 出向者の支援

2. 地域創像委員会

- ① 地域創像(ひと・まちづくり)に関する諸問題の調査・研究と関連諸事業の企画・実施(4月・9月)
- ② だんだん少年野球大会(7月・8月)の企画・実施
- ③ 全国城下町青年会議所連絡協議会全国城下町シンポジウム(会津・5月)の連絡調整
- ④ (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の社会系委員会との連絡調整
- ⑤ 教育関連団体との連絡調整窓口
- ⑥ 環境関連団体との連絡調整窓口
- ⑦ 他 L O M 周年事業の連絡調整
- ⑧ 会員拡大に関する事項
- ⑨ 出向者の支援

3. 会員力向上委員会

- ① 会員力向上(会員拡大・指導力・経営力)に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施(3月・6月)
- ② 卒業式(11月)の企画・実施
- ③ 研修生の指導及び会員に対する教育研修の企画・実施
- ④ (公社)日本青年会議所サマーコンファレンス(横浜)の連絡調整
- ⑤ J C I 世界会議(金沢・11月)の連絡調整
- ⑥ (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の会員拡大系委員会、経済系委員会、及び指導力開発系委員会との連絡調整
- ⑦ 他 L O M 周年事業の連絡調整
- ⑧ 出向者の支援

4. 松江だんだん委員会

- ① 賀会例会（1月）の企画・実施
- ② 松江だんだん(8月)の企画・実施
- ③ 水燈路関連事業の企画・実施
- ④ (公社)日本青年会議所全国大会（八戸・9月）の連絡調整
- ⑤ (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の文化系委員会との連絡調整
- ⑥ 松江水郷祭推進協議会及び実行委員会への調整窓口と参画
- ⑦ 文化関連団体との連絡調整窓口
- ⑧ 6 J C経済文化交流会への参加と連絡調整
- ⑨ 他 L O M周年事業の連絡調整
- ⑩ 会員拡大に関する事項
- ⑪ 出向者の支援

5. 総務・広報委員会

- ① 広報活動に関する調査・研究と関連諸事業の企画・運営(5月)
- ② 総会・例会（2月・8月度第2・12月）の企画・実施
- ③ 公益法人制度に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施
- ④ 定款及び諸規則の調査・研究と関連諸事業の企画・実施
- ⑤ 新公益法人会計基準の調査・実施
- ⑥ 渡鍵式(12月)の企画・運営
- ⑦ 円滑な事務局運営と諸経費の適切な運用
- ⑧ 本会計・事業会計の計画・報告並びに予算・決算の管理
- ⑨ 理事会等の諸会議の資料作成・会場設営・議事録作成
- ⑩ 情報技術に関する諸問題の調査・研究
- ⑪ 対内外広報・ホームページの管理更新・各種情報発信
- ⑫ 要覧・会員名簿の作成
- ⑬ 人間力大賞・褒賞の審査とエントリーの企画・実施
- ⑭ 会員・特別会員への慶弔事業の実施
- ⑮ 他 L O M周年事業の連絡調整
- ⑯ (公社)日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック大会（安来）の連絡調整
- ⑰ (公社)日本青年会議所中国地区協議会中国地区コンファレンスの連絡調整
- ⑱ (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の総務広報系委員会・国際開発系委員会・災害支援系委員会との連絡調整
- ⑲ 会員拡大に関する事項出向者の支援

2015 年度 委員会年間事業計画

JC ビジョン委員会 委員長 樋口 拓磨

1. 事業目的

松江青年会議所は、2016 年に山陰の LOM として初の創立 60 周年を迎えます。60 周年を翌年に控えた今だからこそ、松江青年会議所の今後のあるべき姿を皆で共に創造し、明確に示さなくてはなりません。

当委員会では、松江青年会議所 60 年の歴史の調査と松江 JC ビジョン五ヶ条を検証し、特別会員の皆様のお力添えのもと、現役会員全員でしっかりと議論を交わして頂きます。その上で、松江青年会議所の今後のあるべき姿を明確に示し、歩みを進めていく事を目的と致します。

JC デーでは、創立記念日を特別会員と共に祝い、今後への士気と結束力を更に高めます。卒業式祝賀会では、卒業生のこれまでの活動を慰労すると共に、今後益々の御活躍を祈念する設営と致します。

2. 委員会事業

- ① 京都会議
- ② ブロック会長公式訪問
- ③ 勉強会（委員会事業）
- ④ JCI ASPAC（マレーシア）
- ⑤ 7 月度担当例会
- ⑥ 10 月度例会 JC デー
- ⑦ 卒業式祝賀会

地域創像委員会 委員長 堀尾 公隆

1. 事業目的

近年、子供達を取り巻く生活環境は様々に変化して参りました。地域との関わりが薄れ、コミュニケーション能力は欠如し、郷土を想う心も薄れつつあるのではないのでしょうか。私たちの郷土「松江」には自然・歴史・文化などの誇るべき財産が数多く残されています。

そこで、地域に住む人々が同じ時間を共有し活動する事でコミュニケーション能力を養い、「人を想う心」を育みます。また、これからを担う子供達が地域の自然に触れたり、歴史・文化を学ぶ事で郷土の魅力を感じてもらい、「郷土を想う心」を育みます。

だんだん少年野球大会では参加者のスポーツを通じた心身の健全育成を目的とし、我々が継続してきた思いや情熱を多くの市民の皆様に伝えます。

2. 委員会事業

- ① 4 月度担当例会
- ② 第 34 回全国城下町シンポジウム（会津）
- ③ だんだん少年野球大会
- ④ 9 月度担当例会

1. 事業目的

現在、松江青年会議所は会員数がピーク時の3分の1に減少し、入会3年未満の経験の浅い会員が半数近くを占めています。より精力的な青年会議所運動を行うためにも会員力の向上が必須です。

現役会員には、JAYCEEとしての心構えや経営力・指導力の向上に繋がる教育・研修を実施します。また、研修生には即戦力となるよう充実した指導・研修を行います。会員拡大では、現役会員全員が力を合わせて活動しやすい仕組みを作り、松江青年会議所の活動・魅力を入会候補生に伝えます。卒業式では卒業生の記憶に残るような設営をいたします。

2015年度は、60周年を迎えるための重要な1年と考え、将来を見据えた盤石な組織作りのためにも、皆様の資質向上となる委員会事業・委員会活動を行ってまいります。

2. 委員会事業

- ① 3月度例会
- ② 6月度例会
- ③ 11月度例会（卒業式）
- ④ (公社)日本青年会議所サマーコンファレンス(横浜)
- ⑤ JCI世界会議（金沢）
- ⑥ 3月度例会 ブロック会長公式訪問

1. 事業目的

松江だんだん委員会は、まちに元気を与えることを目指して一年間邁進していきます。「松江だんだんまつり」においては、賑わいを創出し、かつ、古き良き祭りの良さを感じていただくことで、来場者に郷土の良さに気づいていただき、笑顔と活気が溢れ、まちに元気を与えるまつりとするを目的とします。賀会例会は新年度のスタートにあたり、本庄理事長の思いをメンバーで共有し、2015年度の運動にむけて結束と士気を高める機会とします。水燈路関連事業は、関係団体と協力して事業を盛り上げ、来場者に郷土の文化を通してまちの魅力を感じていただくことを目的とします。

2. 委員会事業

- ① 賀会例会
- ② 8月度第1例会(松江だんだん)
- ③ 8月度第1例会(松江だんだん)
- ④ 第64回全国大会(八戸)
- ⑤ 水燈路関連事業

1. 事業目的

2015年に松江青年会議所は、公益社団法人として本格的にスタートします。全メンバーが公益社団法人の一員として当事者意識をもって活動して頂けるよう、運営体制を整えます。さらには松江市民の信頼と期待に応えるべく、公益性、透明性のある団体へと進化し続け、更なる飛躍を目指します。総務活動においては、事務局の備品管理の徹底、無駄のない財務執行に加え、新公益法人会計基準の実施、年3回の定時総会をはじめ、理事会等の諸会議では適正で円滑な運営を図り、松江青年会議所の歩みを進めることを目的とします。

広報活動においては、ホームページの管理更新や過去の広報活動を振り返り、効果的なアプローチを考え各種情報発信を積極的に行います。事業への参加推進だけでなく、松江青年会議所の志・活動・情熱をより多くの人々へ発信することを目的とします。

2. 委員会事業

- ① 定時総会・例会
- ② 5月度例会
- ③ 渡鍵式
- ④ (公社) 日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック大会 (安来)
- ⑤ (公社) 日本青年会議所中国地区協議会中国地区コンファレンス

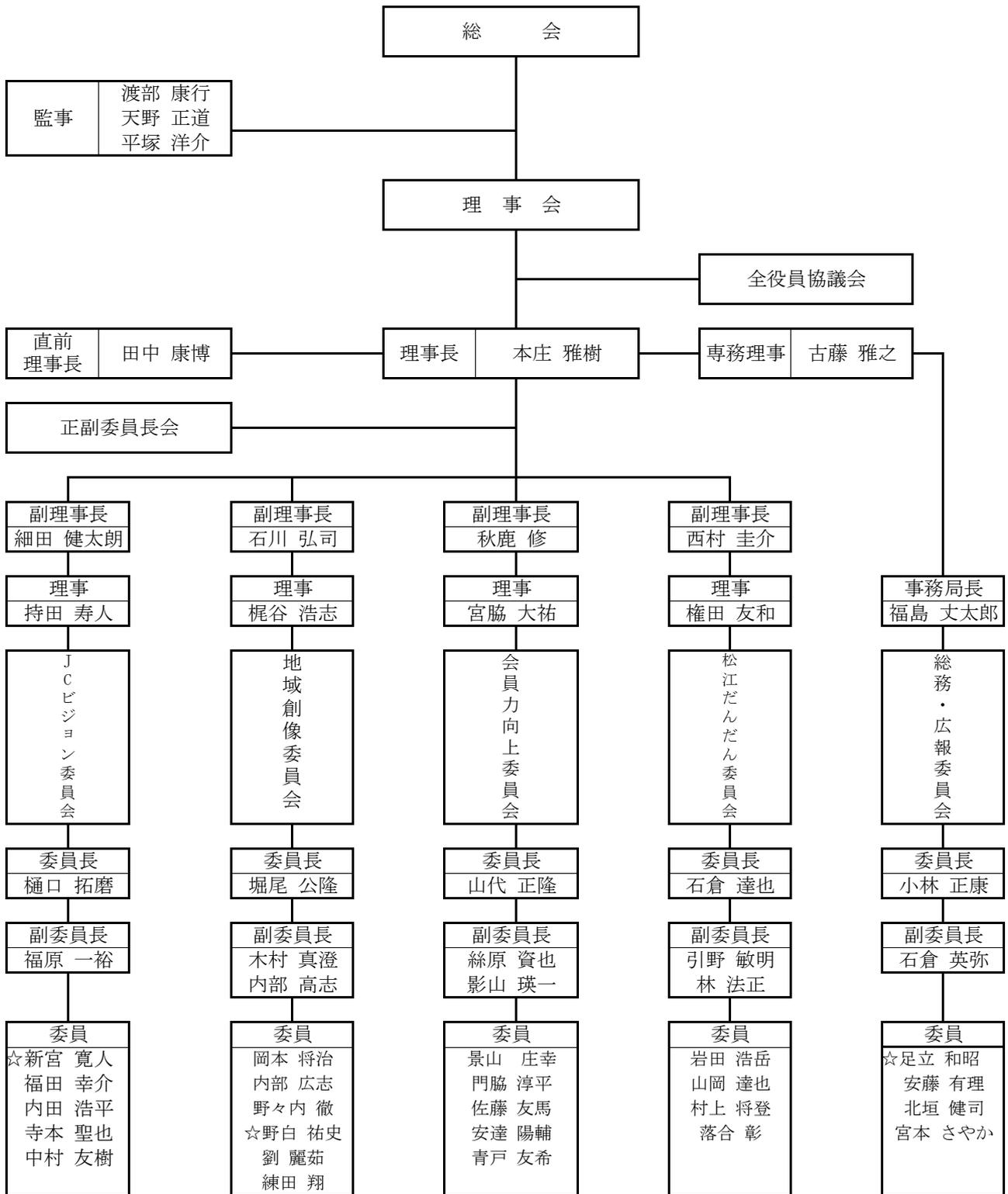
2015 年度 運営規程変更

現 行	改 訂
<p>第6条（委員会）</p> <p>1 委員会は毎月1回以上は開催し、会員は出席義務を負う。</p> <p>2 委員会事業の実施については、理事会の承認を得なければならない。</p> <p>3 定款第39条の規定により次の委員会を設置する。 松江だんだん委員会、総務・研修委員会、広報戦略委員会、郷土愛育成委員会、会員発掘委員会</p> <p>4 総会の決議を経て、単年度の事業目的達成のために特別委員会を設置することができる。</p> <p>5 委員会の職務分掌は次のとおりとする。</p> <p>（1）松江だんだん委員会</p> <p>I 松江だんだんまつり（8月度第1例会）の企画・実施</p> <p>II 担当例会（5月）の企画・実施</p> <p>III 卒業式祝賀会（11月）の企画・実施</p> <p>IV 公益社団法人日本青年会議所全国大会（松山・10月）の連絡調整</p> <p>V 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の文化系委員会及び環境系委員会との連絡調整</p> <p>VI 松江水郷祭推進協議会及び実行委員会への調整窓口と参画</p> <p>VII 文化関連団体との連絡調整</p> <p>VIII 環境関連団体との連絡調整</p> <p>IX 会員拡大に関する事項</p> <p>X 出向者の支援</p> <p>（2）総務・研修委員会</p> <p>I 公益社団法人格移行に関する調整・運営</p> <p>II 定款及び諸規則の調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>III 総会・例会（1月・2月・8月度第2・12月）の企画・実施</p> <p>IV 渡鍵式（12月）の企画・運営</p> <p>V 円滑な事務局運営と諸経費の適切な運用</p> <p>VI 本会計・事業会計の計画・報告並びに予算・決算の管理</p> <p>VII 総会・理事会・全役員協議会・正副委員長会等の諸会議の資料作成・会場設営・議事録作成</p> <p>VIII 要覧・会員名簿の作成</p> <p>IX 公式発信文書の管理</p> <p>X 会員・特別会員への慶弔事業の実施</p> <p>X I 研修生の指導</p> <p>X II 人間力大賞・褒賞の審査とエントリーの企画・実施</p> <p>X III 島根ブロック協議会災害支援ネットワークの連絡調整窓口</p> <p>X IV 公益社団法人日本青年会議所サマーコンファレンス（横浜・7月）の連絡調整</p> <p>X V 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の総務広報系委員及び指導力開発系委員会及び国際開発系委員会との連絡調整</p> <p>X VI 会員拡大に関する事項</p> <p>X VII 出向者の支援</p> <p>（3）広報戦略委員会</p> <p>I 情報技術に関する諸問題の調査・研究</p> <p>II 担当例会（3月）の企画・実施</p> <p>III だんだん少年野球大会（7月）の企画・実施</p> <p>IV 水燈路関連事業（10月）の企画・実施</p> <p>V 広報・ホームページの管理更新・各種情報発信</p>	<p>第6条（委員会）</p> <p>1 委員会は毎月1回以上は開催し、会員は出席義務を負う。</p> <p>2 委員会事業の実施については、理事会の承認を得なければならない。</p> <p>3 定款第39条の規定により次の委員会を設置する。 J C ビジョン委員会、地域創像委員会、会員力向上委員会、松江だんだん委員会、総務・広報委員会</p> <p>4 総会の決議を経て、単年度の事業目的達成のために特別委員会を設置することができる。</p> <p>5 委員会の職務分掌は次のとおりとする。</p> <p>（1）J C ビジョン委員会</p> <p>I 今後の松江青年会議所の組織運営に関する諸問題の調査・研究と方向性の提示(7月)</p> <p>II (公社) 松江青年会議所過去 60 年間の事業に関する調査及び編纂</p> <p>III J C デー（10月）の企画・実施</p> <p>IV 卒業式祝賀会(11月)の企画・実施</p> <p>V (公社) 日本青年会議所京都会議（京都・1月）の連絡調整</p> <p>VI J C I A S P A C（マレーシア）の連絡調整</p> <p>VII (公社) 日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の政治系委員会との連絡調整</p> <p>VIII 特別会員との連絡調整窓口</p> <p>IX (公社) 日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック会長公式訪問の連絡調整・運営</p> <p>X 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>X I 会員拡大に関する事項</p> <p>X II 出向者の支援</p> <p>（2）地域創像委員会</p> <p>I 地域創像（ひと・まちづくり）に関する諸問題の調査・研究と関連諸事業の企画・実施(4月・9月)</p> <p>II だんだん少年野球大会(7月・8月)の企画・実施</p> <p>III 全国城下町青年会議所連絡協議会全国城下町シンポジウム（会津・5月）の連絡調整</p> <p>IV (公社) 日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の社会系委員会との連絡調整</p> <p>V 教育関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VI 環境関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VII 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>VIII 会員拡大に関する事項</p> <p>IX 出向者の支援</p> <p>（3）会員力向上委員会</p> <p>I 会員力向上（会員拡大・指導力・経営力）に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施(3月・6月)</p> <p>II 卒業式(11月)の企画・実施</p> <p>III 研修生の指導及び会員に対する教育研修の企画・実施</p> <p>IV (公社) 日本青年会議所サマーコンファレンス（横浜）の連絡調整</p> <p>V J C I 世界会議（金沢・11月）の連絡調整</p> <p>VI (公社) 日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の会員拡大系委員会、経済系委員会、及び指導力開発系委員会との連絡調整</p> <p>VII 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>VIII 出向者の支援</p> <p>（4）松江だんだん委員会</p> <p>I 賀会例会（1月）の企画・実施</p> <p>II 松江だんだんの企画・実施</p> <p>III 水燈路関連事業の企画・実施</p>

2015 年度 運営規程変更

現 行	改 訂
<p>VI 会員・特別会員に向けた各種情報発信</p> <p>VII 公益社団法人日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会 会長公式訪問に関する連絡調整</p> <p>VIII 他 L O M 周年事業（江津・隠岐）の連絡調整</p> <p>IX 公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会地区コンファレンス（浜田）の連絡調整</p> <p>X 公益社団法人日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック大会（出雲）の連絡調整</p> <p>X I 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の政治系委員会との連絡調整</p> <p>X II 6 J C 経済文化交流会への参加と連絡調整</p> <p>X III 会員拡大に関する事項</p> <p>X IV 出向者の支援</p> <p>（4）郷土愛育成委員会</p> <p>I ひとつづくり及びまちづくりに関する諸問題の調査・研究</p> <p>II ひとつづくり及びまちづくりに関する例会（9月）の企画 実施</p> <p>III 例会（1月・6月）の企画・実施</p> <p>IV 卒業式式典（11月度例会）の企画・実施</p> <p>V 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の教育系委員会及び社会系委員会との連絡調整</p> <p>VI 全国城下町シンポジウム（熊本・5月）の連絡調整</p> <p>VII 教育関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VIII スポーツ関連団体との連絡調整窓口</p> <p>IX 会員拡大に関する事項</p> <p>X 出向者の支援</p> <p>（5）会員発掘委員会</p> <p>I 会員拡大に関する諸問題の調査・研究</p> <p>II 会員拡大に関する例会（4月・7月）の企画 実施</p> <p>III J C デー（10月度例会）の企画・実施</p> <p>IV 公益社団法人日本青年会議所京都会議（京都・1月）の連絡調整</p> <p>V 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の会員拡大系委員会との連絡調整</p> <p>VI 出向者の支援</p> <p>第7条（推進会議） 特定の事項を研究、推進するために、必要に応じて理事会の承認を経て、推進会議を設置することができる</p>	<p>IV （公社）日本青年会議所全国会員大会（八戸・9月）の連絡調整</p> <p>V （公社）日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の文化系委員会との連絡調整</p> <p>VI 松江水郷祭推進協議会及び実行委員会への調整窓口と参画</p> <p>VII 文化関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VIII 6 J C 経済文化交流会への参加と連絡調整</p> <p>IX 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>X 会員拡大に関する事項</p> <p>X I 出向者の支援</p> <p>（5）総務・広報委員会</p> <p>I 広報活動に関する調査・研究と関連諸事業の企画・運営（5月）</p> <p>II 総会・例会（2月・8月度第2・12月）の企画・実施</p> <p>III 公益法人制度に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>IV 定款及び諸規則の調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>V 新公益法人会計基準の調査・実施</p> <p>VI 渡鍵式の企画・運営</p> <p>VII 円滑な事務局運営と諸経費の適切な運用</p> <p>VIII 本会計・事業会計の計画・報告並びに予算・決算の管理</p> <p>IX 理事会等の諸会議の資料作成・会場設営・議事録作成</p> <p>X 情報技術に関する諸問題の調査・研究</p> <p>X I 対内外広報・ホームページの管理更新・各種情報発信</p> <p>X II 要覧・会員名簿の作成</p> <p>X III 人間力大賞・褒賞の審査とエントリーの企画・実施</p> <p>X IV 会員・特別会員への慶弔事業の実施</p> <p>X V 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>X IV （公社）日本青年会議所・中国地区島根ブロック協議会ブロック大会（安来）の連絡調整</p> <p>X VII （公社）日本青年会議所中国地区協議会中国地区コンファレンスの連絡調整</p> <p>X VIII （公社）日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の総務広報系委員会・国際開発系委員会・災害支援系委員会との連絡調整</p> <p>X IX 会員拡大に関する事項</p> <p>X X 出向者の支援</p> <p>第7条（推進会議） 特定の事項を研究、推進するために、必要に応じて理事会の承認を経て、推進会議を設置することができる</p>

2015年度 組織図



☆は理事、○は顧問、※は監事

理 事 長 1 名
直前理事長 1 名
副 理 事 長 4 名
専 務 理 事 1 名
理 事 8 名
(理 事 総 数 14 名)

監 事 3 名
委 員 長 5 名
副 委 員 長 8 名
委 員 21 名
(正 会 員 合 計 51 名)

2015 年度 出向者

公益社団法人日本青年会議所

	監 事	天野 正道
国家グループ 主権国家確立委員会	委 員	足立 和昭

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 島根ブロック協議会

直前会長	天野 正道
直前会長補佐	景山 庄幸
直前会長補佐	野々内 徹

誇れる島根創造委員会	委 員	足立 和昭
------------	-----	-------

果敢に挑むリーダー育成委員会	委 員 長	新宮 寛人
	委 員	渡部 康行

ブロック大会運営会議	委 員	佐藤 友馬
------------	-----	-------

総務広報委員会	副委員長	野白 祐史
	委 員	練田 翔

6JC 経済文化交流会

	委 員	平塚 洋介
	委 員	林 法正

2015年度 年間公式スケジュール

項	目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
松江青年会議所	常任理事会	6日(火)第1回	3日(火)第2回	3日(火)第3回 31日(火)第4回		1日(金)第5回	2日(火)第6回 30日(火)第7回		4日(火)第8回 5月7日(水)	1日(火)第9回 29日(火)第10回	5月7日(水)	2日(月)第11回	1日(火)第12回	
	正副委員長会	15日(木)第1回	12日(木)第2回	12日(木)第3回	9日(木)第4回	14日(木)第5回	11日(木)第6回	9日(木)第7回	13日(木)第8回	10日(木)第9回	8日(木)第10回	12日(木)第11回	17日(木)第12回(新田)	
	全役員協議会	15日(木)第1回	12日(木)第2回	12日(木)第3回	9日(木)第4回	14日(木)第5回	11日(木)第6回	9日(木)第7回	13日(木)第8回	10日(木)第9回	8日(木)第10回	12日(木)第11回	17日(木)第12回(新田)	
	理事会	6日(火)第1回 15日(木)第2回	12日(木)第3回	12日(木)第4回	9日(木)第5回	14日(木)第6回	11日(木)第7回	9日(木)第8回	13日(木)第9回	10日(木)第10回	8日(木)第11回	12日(木)第12回	17日(木)第13回(新田)	
	総会		19日(木)第163回							20日(木)第164回				10日(木)第165回
	例会	9日(金)親会例会 【松江だんだん】	19日(木)総会・例会 【総務・広報】	19日(木)担当例会 【会員方向上】	16日(木)担当例会 【地域創像】	21日(木)担当例会 【総務・広報】	18日(木)担当例会 【会員方向上】	16日(木)担当例会 【JCビジョン】	1日(土)・2日(日)松江だんだんまつり 第1例会 【松江だんだん】	17日(木)担当例会 【地域創像】	1日(木)JCデー例会 【JCビジョン】	22日(日)例会・卒業式式典 【会員方向上】	10日(木)総会・例会・祝賀式 【総務・広報】	22日(日)卒業式祝賀会 【JCビジョン】
	事業	9日(金)城山稲荷参拝 【総務・広報】						日種未定少年野球 【地域創像】	20日(木)総会 第2例会 【総務・広報】		日種未定委員会事業(水産科) 【松江だんだん】			
6JC経済文化交流会														
島根ブロック協議会	正副会長会議	17日(土)(平田)	12日(木)(松江) 28日(土)(江津)		15日(木)(安来) 25日(土)(島根大田)	27日(木)(島根大田)	27日(土)(浜田)		13日(木)(平田)	12日(土)(松江)	28日(木)(江津)	28日(土)(未定)		
	役員会議	17日(土)(平田)	28日(土)(江津)		25日(土)(島根大田)		27日(土)(浜田)			12日(土)(松江)		28日(土)(未定)		
	会員会議所会議	第1回(賀会) 17日(土)(平田)	第2回 28日(土)(江津)		第3回 25日(土)(島根大田)		第4回 27日(土)(浜田)		第5回 12日(日) 第41回ブロック大会(安来) 【総務・広報】		第6回 12日(土)(松江)		第6回 28日(土)(未定)	
事業			会長公式訪問 西部20日(金)(益田) 東部21日(土)(安来) 【JCビジョン】		憲法タウンミーティング (未定) ブロックスゴーズ大会 17日(日)(出雲)									
中国地区協議会	役員会議	16日(金)(宮島)	6日(金)(萩)	28日(土)(府中)	10(金)(新見)	9日(土)(浜田)	26日(金)(米子)	24日(金)(光)	8日(土)(呉)		2日(金)(鳥取)	23(月)(出雲)	4日(金)(未定)	
	会員会議所会議	23日(金)(京都)												
	ブロック大会													
事業					9日(土)予備日10日(日)JCカップ			9日(日)地区コンファレンス(呉) 【総務・広報】				5日(土)新田引籠ぎ		
日本青年会議所	総会	24日(土)(京都)		22日(日)(横浜)						26日(八戸)				
	常任理事会	9日(金)	20日(金)	6日(金)	17日(金)	15日(金)	19日(金)	16日(木)		18日(金)	16日(金)	20日(金)	18日(金)	
	理事会	23日(金)(京都)	21日(土)	7日(土)	18日(土)	16日(土)	20(土)	17日(金)		19日(土) 25日(金)(八戸)	17日(土)	21日(土)	19日(土)	
	ブロック会長会議	23日(金)(京都)	21日(土)	7日(土)	18日(土)	16日(土)	20(土)	17日(金)		19日(土) 25日(金)(八戸)	17日(土)	21日(土)	19日(土)	
JCI関係	JCI諸会議	12日(月)～18日(日) JCI常任理事会/理事会 (JCI JEM/JBM)				6日(水)～9日(土)アフリカ・中東地域会議 11(木)～14(日)アジア太平洋地域会議 (ASPAO) アメリカ地域会議	3日(水)～6日(土)ヨーロッパ地域会議 11(木)～14(日)アジア太平洋地域会議 (ASPAO) コタキアバル大会	24日(金)～26日(日)JCI中間常任理事会 (JCI MYE) 28日(火)～31日(金)グローバルパートナーシップサミット(GPS)				3日(火)～8日(日)JCI世界会議(金沢)		
	NOM主催事業	22日(木)～25日(日)京都会議(京都) 【JCビジョン】						18日(土)～19日(日)マツコフリス(横浜) 【会員方向上】		24日(木)～27日(日)第64回全国大会(八戸) 【松江だんだん】				
その他						境港JC50周年 19日(火) 【松江だんだん】 22日(金)～24日(日)全国城下町シンポジウム(会津) 【地域創像】	益田JC50周年 7日(日) 【地域創像】				広島JC65周年 5日(土) 【会員方向上】			
											宝塚JC50周年 13日(日) 【JCビジョン】			

※は非公式

一般会計収支予算書（案）

2015年1月1日から12月31日まで

（単位：円）

科 目	15年度予算 (2月修正)	14年度予算 (2月修正)	増 減	摘 要
I、事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	0	0	
計	0	0	0	
②入金収入				
入金収入	270,000	270,000	0	9名 × 30,000
計	270,000	270,000	0	
③会費収入				
正会員会費収入	7,956,000	7,956,000	0	51名 × 156,000
研修費収入	351,000	351,000	0	9名 × 39,000
特別会員会費収入	150,000	300,000	▲ 150,000	5名 × 30,000
賛助会員会費収入	0	0	0	0名 × 36,000
計	8,457,000	8,607,000	▲ 150,000	
④事業収入				
受託公益事業収益	350,000	0	350,000	松江だんだん委員会飲食収入
登録料収入	80,000	0	80,000	地域創像委員会（4月・9月担当例会）
販売収入	0	0	0	
家賃・会議室収入	0	0	0	
懇親会収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
計	430,000	0	430,000	
⑤補助金等収入				
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
民間補助金収入	0	0	0	
地方公共団体助成金収入	100,000	100,000	0	水燈路関連事業
民間助成金収入	3,878,800	4,166,808	▲ 288,008	松江だんだん（3493800）、だんだん少年野球(385,000)
計	3,978,800	4,266,808	▲ 288,008	
⑥負担金収入				
負担金収入	0	-	-	
計	0	0	0	
⑦寄付金収入				
寄付金収入	0	0	0	
募金収入	0	0	0	
卒業記念品寄付収入	100,000	0	100,000	2014年度卒業記念品寄付（5名）
計	100,000	0	100,000	
⑧雑収入				
利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
計	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
⑨その他の事業活動収入				
その他の事業活動収入	0	-	-	
計	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	13,235,800	13,143,808	91,992	

2. 事業活動支出				
①事業費支出				
会場設営費支出	2,844,255	-	-	
企画演出費支出	1,127,304	-	-	
本部団関係費支出	108,200	-	-	
講師関係費支出	388,675	-	-	
広報費支出	1,149,506	-	-	
資料作成費支出	40,430	-	-	
報告書作成費支出	3,280	-	-	
懇親会費支出	0	-	-	
渉外費支出	0	-	-	
旅費交通費支出	0	-	-	
参加記念品代支出	227,000	-	-	
保険料支出	107,500	-	-	
通信費支出	29,620	-	-	
販売物品仕入費支出	350,000	-	-	
雑支出	0	-	-	
手数料支出	1,080	-	-	
事務局費支出	0	-	-	
地代家賃支出	1,170,162	-	-	7割按分
給与手当支出	1,120,000	-	-	7割按分
法定福利費支出	177,615	-	-	7割按分
福利厚生費支出	0	-	-	
退職給付支出	42,000	-	-	7割按分
計	8,886,627	12,832,573	▲ 3,945,946	
②管理費支出				
給与手当支出	480,000	1,862,000	▲ 1,382,000	3割按分
退職金給付手当支出	18,000	52,500	▲ 34,500	3割按分 中退共5,000円/月
法定福利費支出	76,121	-	-	3割按分
福利厚生費支出	12,000	-	-	
会議費支出	39,900	244,680	▲ 204,780	総会
旅費交通費支出	0	0	0	
通信・発送費支出	300,000	300,000	0	
消耗品費支出	60,000	60,000	0	
地代家賃支出	501,498	1,512,655	▲ 1,011,157	3割按分
リース料支出	95,760	97,830	▲ 2,070	複合機
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	690,000	760,000	▲ 70,000	
光熱費支出	130,000	130,000	0	
記録費支出	10,000	10,000	0	
業務委託支出	125,000	138,500	▲ 13,500	理事変更登記等・公益会計業務委託料
インフォメーション関係費	100,000	100,000	0	
保険料支出	0	0	0	
租税公課支出	0	0	0	
渉外費支出	0	0	0	
記念品代	43,000	45,000	▲ 2,000	
慶弔費	100,000	100,000	0	
JC渉外費	85,000	70,000	15,000	
負担金支出	0	0	0	
日本JC会費負担基本額	45,000	45,000	0	
日本JC会費付加金	255,000	255,000	0	51名 × 5,000
JCI会費	57,834	57,834	0	51名 × 1,134
国際協力金	93,075	93,075	0	51名 × 1,825
出向者負担金	40,000	100,000	▲ 60,000	2名 × 20,000
WE BELIEVE等購読料	153,000	153,000	0	51名 × 3,000

地区協議会負担金	25,500	25,500	0	51名 × 500
ブロック協議会負担金	336,000	336,000	0	51名 × (3,000+3,000) + 30,000
その他負担金	50,000	50,000	0	京都会議+全城+負担金
雑支出	170,000	170,000	0	
計	4,091,688	6,768,574	▲ 2,676,886	
事業活動支出計 (B)	12,978,315	19,601,147	▲ 6,622,832	
事業活動収支差額 (A) - (B)	257,485	▲ 6,457,339	6,714,824	
II、投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入				
周年事業積立資産取崩収入	0	-	-	
②固定資産売却収入				
什器備品売却収入	0	-	-	
③その他の投資活動収入				
その他の投資活動収入	0	-	-	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出				
周年事業積立資産取崩支出	0	-	-	
②固定資産取得支出				
什器備品取得支出	0	-	-	
③その他の投資活動支出				
その他の投資活動支出	0	-	-	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III、財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	-	-	
②その他の財務活動収入	0	-	-	
③他活動振替収入	0	-	-	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	0	-	-	
②その他の財務活動支出	0	-	-	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV、予備費支出				
①予備費支出	200,000	200,000	0	
当期収支差額	57,485	▲ 6,657,339	6,714,824	
前期繰越収支差額	5,922,925	6,657,339	▲ 734,414	
次期繰越収支差額	5,980,410	0	5,980,410	

2015年度公益社団法人松江青年会議所 委員会事業・予算（案）

<参考資料>

委員会名	事業名	開催月	委員会希望事業予算額			備考
			事業費繰入予算額	事業費外繰入予算額	計	
J C ビジョン委員会	4月委員会事業	4月	27,336		27,336	
	7月度担当例会	7月	21,630		21,630	
	第59回J Cデー	10月	14,528	6,000	20,528	事業費外繰入予算額は管理費支出
	卒業式祝賀会	11月		7,000	7,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
小計			63,494	13,000	76,494	
地域創像委員会	4月度担当例会	4月	369,700	20,000	389,700	事業費外繰入予算額は登録料収入
	だんだん少年野球	7月・8月		385,000	385,000	事業費外繰入予算額は民間助成金収入
	9月度担当例会	9月	510,300	60,000	570,300	事業費外繰入予算額は登録料収入
小計			880,000	465,000	1,345,000	
会員力向上委員会	3月度例会	3月	90,000		90,000	
	6月度例会	6月	400,000		400,000	
	11月度例会（卒業式）	11月	377,000	33,000	410,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
小計			867,000	33,000	900,000	
松江だんだん委員会	1月度例会（賀会例会）	1月	30,000		30,000	
	8月度第1例会（松江だんだん）	8月		3,493,800	3,493,800	事業費外繰入予算額は民間助成金収入
	8月度第1例会（松江だんだん）	8月		350,000	350,000	事業費外繰入予算額は販売収入
	水燈路関連事業	10月	174,000	100,000	274,000	事業費外繰入予算額は地方公共団体助成金収入
小計			204,000	3,943,800	4,147,800	
総務・広報委員会	定時総会・例会	2月、8月、12月		40,072	40,072	事業費外繰入予算額は管理費支出
	5月例会	5月	21,900		21,900	
	渡鍵式	12月		378	378	事業費外繰入予算額は管理費支出
	会員名簿の作成	12月		250,000	250,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
	要覧の作成	2016年2月		200,000	200,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
小計			21,900	490,450	512,350	
委員会事業費合計			2,036,394	4,945,250	6,981,644	
事業予備費						
事業費総予算額			2,036,394	4,945,250	6,981,644	